特論領域

平成 24 年度以降入学生用

履修年次	開講時期	科目名	担当教員
1年	前期	色彩デザイン特論	宮内　博実

＜テーマ＞

デザイン計画における「カラー」の重要性について、十分な理解を深め，実践的な技術を習得する。

＜授業の目標（学習目標）＞

「基礎的な理論」と企業等での実践面での「展開」の両面から、総合的な色彩計画における幅広い見識を深める。

＜授業の方法＞

座学が中心であるが、随時個別に取り組む「カラーデザイン演習」を交えて、着実にテクニックも同時に習得する事も目的の一部としている。デザインコンセプトを戦略的に構築するために、もっともビジュアルで解りやすい「カラーストーリー」設定や考え方を、実例を通して学ぶ。

＜授業計画＞

①ガイダンス（全体説明と座学演習形式の説明）
②20 世紀までの色彩計画の流れと今日的な解釈
　配色トレーニング1
③21 世紀からの色彩計画の流れと今後の対応
　配色トレーニング2
④配色研究と色彩応用研究の背景
　配色トレーニング3
⑤実践的な色彩応用研究
　配色トレーニング4
⑥色彩心理研究と経済における商品色のあり方（その1）
　配色トレーニング5
⑦色彩心理研究と経済における商品色のあり方（その2）
　配色トレーニング6
⑧感性尺度としてのカラーの役割と機能（その1）
　配色トレーニング7
⑨感性尺度としてのカラーの役割と機能（その2）
　配色トレーニング8
⑩カラーイメージの捉え方と実践活用事例（その1）
　配色トレーニング9
⑪カラーイメージの捉え方と実践活用事例（その2）
　配色トレーニング10
⑫色彩計画における調査手法と分析手順
　配色トレーニング11
⑬総括と最終レポート課題の説明
⑭プレゼンテーション1
⑮プレゼンテーション2

＜評価の方法・基準＞

基本的に出席状況を主に評価とするが，それぞれ提出された演習の成果も評価ポイントに加算する。

＜テキスト＞

その都度講義内容に必要な資料を配布する。

＜参考書＞

毎日が楽しくなる色の取扱説明書　宮内博実著　かんき出版発行　他の参考書籍は随時授業中に紹介する。

＜受講上の注意事項等＞